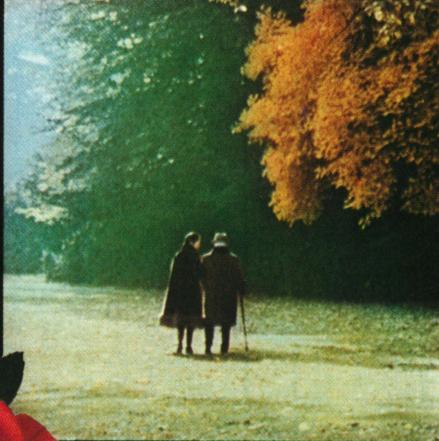


チャーリー
私たちはいま
初めて知った

あなたの人生は
数々の名作よりも
さらに
素晴らしいことを!

CHARLES CHAPLIN'S GREAT BIOGRAPHY



「イーシー・ライダー」「ハーツ・アンド・マインズ」の
気鋭製作者バート・シュナイダーが描破する
チャップリン・激動の88年!

製作/バート・シュナイダー
監督・脚本/リチャード・バタースン
オリジナル音楽/チャールズ・チャップリン
協力/ピーター・ボグダノビッチ

●ナレーター
ウォルター・マッソー
ローレンス・オリビエ
ジャック・レモン
カラー作品
日本ヘラルド映画



**THE GENTLEMAN
TRAMP**

放浪紳士

チャーリー



撮影中のチャップリン

●劇映画以上の素晴しい感動

たった一人で映画を単なる見せ物から、芸術にまで高めた偉大な男
チャーリー・チャップリン。

この映画は、愛し、涙し、常に圧力と闘いながら生きた、人間・チャップリンの激動の88年を、ブライベート・フィルムと過去の数々の名作・名場面を混じえて描いた感動作です。

あの若者文化の草分けとなったニューシネマの傑作「イージー・ライダー」を製作したバート・シユナイダーが、それから7年、たどりついた人間の愛と勇気の根源それがチャップリンだった。「チャップリンの生きた軌跡は、彼のどの名作よりも素晴らしい」と語る彼のこの作品は、今までの人間ドキュメンタリーとはまったく違った視点からとらえて、天才の鮮烈な生きざまが、劇映画以上の感動をもつて見る者に迫る。

一切の妥協を許さぬ強い意志と、何にもまして幸せと愛を求めつづけたこの天才の足跡を、見事に再構成し、大きなドラマを作り上げた監督はリチャード・パターソン。現在33才の新鋭らしく、単にノスタルジーではなく、若者のみを持つ感性で見事に真のチャップリン像を見つめている。



アカデミー授賞式の席上で、J.ニコルソン、J.フォンダ、サミー・デービス、Jrらと

インタビュアー及びナレーターに名優ウォルター・マツソー。自宅にくろくチャップリンとウーナ夫人に愛情と尊敬をもってインタビュしている。自伝朗読がこれも名優のローレンス・オリビエ、アカデミー賞司会でジャック・レモンが出演、そして脚本、構成に協力したのが「ラスト・シヨウ」のピーター・ボグダノビッチ。オリジナル音楽はもちろん、チャップリン自身である。

●チャップリン激動の生涯！

チャップリンは1889年4月16日ロンドンに生まれた。4歳で父と死別、母と貧困の日々を送る。6歳のとき母が発狂、精神病院に入れられ、彼は異父兄シドニーとともに孤児院に収容された。この施設の学校で短期間読み書きを習ったのが、チャップリンの唯一の学校体験である。10歳、ロンドンのヒポドローム劇場に端役で初舞台。12歳、母再び発狂、入院。

21歳（1910年）のとき、軽演劇のカルノー一座の一員として初めてアメリカに渡った。13年、ハリウッドのキーストン映画と年間35本の出演に契約、「成功争い」がその第一作となった。

21年31歳、「キッド」公開。以後57年の「ニューヨークの王様」まで数々の長篇名作が作られたが、その間に母の死去、3回の結婚、離婚、私生児問題、アメリカの赤狩りによる国外追放など、さまざまな出来事が彼を襲った。

そして43年春、ついに生涯かけ捜し求めていた女性にめぐりあう。劇作家ユージン・

僕は泣いた！

このチャップリン映画の最新作は、数々の名作すら描きえなかつた彼の人生そのものを描いて

最も感動的な最後の作品になるだろう！

●涙を誘うアカデミー授賞式！

53年、アメリカの赤狩り旋風に追われスイスに居をかまえたチャップリンが、72年アカデミー特別賞を受賞し、久し振りにアメリカに迎えられ。受賞式、総立ちの観客、スター達の暖かい拍手、会場に湧き起る彼作詞の「スマイル」の合唱、その中で言葉につまりながら「サンキュー、サンキュー」とだけ繰り返すチャップリンの姿は、それまでの足跡と相まって、感動の涙を誘う。

●登場する数々の名作！

- 「キッド」〔1920年〕 「黄金狂時代」〔1925年〕 「サーカス」〔1928年〕 「街の灯」〔1931年〕 「モダン・タイムス」〔1936年〕 「独裁者」〔1940年〕 「殺人狂時代」〔1947年〕 「ライムライト」〔1952年〕 「ニューヨークの王様」〔1957年〕
- ★他短篇多数！

●萩本欽一氏評

＜カラー作品＞アメリカ映画

放浪紳士

チャーリー



●今年88才を迎えたチャップリンと最愛の妻ウーナ夫人

'78年新春第1弾！

12月17日(土)より感動のロードショー！

町前日劇 有楽町
ニュー東宝シネマ1
(571) 1946